



株主の皆様へ

第118期 中間報告書

平成28年4月1日～平成28年9月30日

YODOGAWA STEEL WORKS

Steel sheet / Building material / Exterior / Roll / Grating

株式会社 **淀川製鋼所**

証券コード 5451



(重要文化財 ヨドコウ迎賓館)

株主の皆様へ



國保会長（左）と河本社長（右）

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社の第118期第2四半期累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の事業の内容につきましてご報告申し上げます。

平成28年12月

代表取締役会長
國保 善次

代表取締役社長
河本 隆明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、引き続き停滞感を伴う状況で推移しました。雇用情勢は改善が続いておりますが、個人消費は上向く兆しが見られず、国内設備投資も足踏みが続いております。英国のEU離脱問題など世界経済の不透明感の高まりから投資家のリスク回避による円高と株価下落が進み、日銀が7月に追加金融緩和を決定しましたが為替と株価への影響は一時的なものにとどまりました。円高による輸出の停滞や個人消費の弱含みなどから、企業の景況感に慎重さが増しております。

世界経済では、牽引役が期待される米国経済は、個人消費と雇用改善が継続して好調を維持しているものの、政策金利の再引き上げに至るまでの力強さには欠ける状況となっております。中国では、政府の財政出動の効果から公共投資を中心に持ち直しの動きも見られておりますが、不動産市場では過熱状況も見られる一方で民間投資は弱含むなど、先行きの予断を許さない状況と考えられます。

鉄鋼業では、2016年に入り鉄鉱石や原料炭など鉄鋼原材料の価格が上昇傾向にあることから、全体としては価格是正に取り組む動きとなっておりますが、日本国内市場は各需要産業の生産などが盛り上がりを欠いたことから普通鋼国内向け出荷は前年同月比で減少傾向が続いており、値上げの浸透には時間を要する状況となっております。

海外鉄鋼市場では、中国の粗鋼生産は2016年3月以降前年を上回る状況が続いており、その鋼材輸出も年初からの累計では前年を上回る高水準となっております。中国鉄鋼業の高水準な輸出を背景に、世界各地域でアンチ

ダンピングやセーフガードなど保護主義的措置が増加しております。なお、米国における台湾製表面処理鋼板に対するアンチダンピング税率は、2016年1月に0%で仮決定の後5月に3.77%で一旦決定されましたが、7月に10.34%に修正されております。

このような環境のなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高733億30百万円（前年同期比121億6百万円減）、営業利益62億54百万円（同31億35百万円増）、経常利益60億90百万円（同24億74百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益32億32百万円（前年同期は51億72百万円の損失）となりました。

市況が停滞するなか、採算重視の販売活動に努めましたが、日本国内では鋼板商品および建材商品で市況軟

化の影響を受けたこと、海外では台湾の子会社である盛餘股份有限公司（SYSCO社）の米国向け販売量の減少に加え、為替の影響などもあり、減収となりました。損益面では、タイの子会社であるPCM PROCESSING（THAILAND）LTD.（PPT社）および中国の子会社である淀川盛餘（合肥）高科技鋼板有限公司（YSS社）の改善に加え、SYSCO社の台湾国内での販売強化の効果、日本国内では棚卸資産の評価に伴う損益押し上げ効果とエネルギーコスト低減等もあり、前年同期比で改善しました。

なお、中間配当につきましては、1株当たり30円とし12月1日よりお支払することといたします。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績の推移



ヨドコウグループの窓口商社

淀鋼商事株式会社

半世紀以上にわたりヨドコウグループの窓口商社として歩んできた淀鋼商事株式会社。本年6月に新たに就任した服部社長に、社長就任の抱負や展望を語っていただきました。

製販一体を強みに拡販を追求し、グループの中核企業としての貢献をめざす

当社は半世紀以上にわたりヨドコウの窓口商社として、グループとの緊密な連携のもとで事業の発展をめざしてきました。事業の中心はヨドコウの鋼板・建材の販売で、製販一体の強みを活かして市場の開拓に努めています。

昨年1月には、社名を白洋産業株式会社から淀鋼商事株式会社に改め、ヨドコウグループの一員としての位置づ

けを明確にし、窓口商社としての機能を一層強化することとなりました。また、本年6月に

代表取締役社長
服部 格

は私が新たな代表取締役社長に就任いたしました。今後、淀川製鋼所との協力関係をさらに強め、グループ全体に貢献していきたいと考えております。

目下の課題としては、「品質」のヨドコウおよび「サービス」の淀鋼商事が連携して、提案型営業を推進する中で、新社名にふさわしくグループの中核企業として成長をめざすことです。また、鋼板の周辺商材の取扱いなどにも積極的に取り組んでいきます。

本当の「チャレンジ」、本当の「チェンジ」に取り組む

今、当社が取り組むべきは、本当の「チャレンジ」であり、本当の「チェンジ」です。その精神のもとで、新しい仕事に挑戦し、多様化する価値観をとらえ、世の中の変化に素早く対応していくことが欠かせません。そして、経営陣を含めて社員一人ひとりがそれぞれの存在価値をしっかりと示すことがさらなる飛躍につながると考えます。

近年、人口減少や少子高齢化を背景に住宅着工件数は減少傾向にあります。鋼板市場は底堅いと言われながらも、市場を取り巻く環境は大きく変化しており、当社としても先を見すえた新たな挑戦が不可欠です。そのため

には製販一体の強みを活かしつつ、新たな商流を生み出すことが重要と考えます。

具体的には、地域密着による少量多品種の販売体制の確立をはじめ、PFI（民間資金等を活用した公共事業）やPPP（官民連携事業）への取り組み、インターネット上での販売や海外販路の開拓など取り組むべき課題は数多くあります。それだけに当社のビジネスチャンスの余地は大きいと考えます。

2020年の東京五輪などを見すえて安定的な収益を確保する体制づくり

私は、工事営業を20年経験した後、鋼板営業を14年、東京地区で6年勤めるなど、ユーザー様の現場に近

いところで仕事をしてきました。こうした経験や人脈、視点をフルに発揮して、経営革新を図りつつ、ヨドコウの窓口商社の存在価値を高めていく覚悟です。

日本は今、2020年に開催予定の東京五輪に向けて大きく動き出しています。当社はビジネスチャンスに的確に対応して安定的な収益を確保できる体制づくりに注力していきます。そして、変化の激しい時代に新たなチャレンジができる組織をめざして、社員の意識改革と人材育成に力を入れ、時代を先取りしたビジネスモデルを創出することが経営者としての使命であると考えます。

淀鋼商事はこれからもお客様から必要不可欠なパートナーとして信頼していただける商社をめざしてまいります。新たな挑戦にぜひご期待ください。

会社概要

ヨドコウの指定問屋として密接な関係のもとで事業を拡大



淀鋼商事株式会社は、戦時中の1942(昭和17)年に四国鉱業株式会社として高知市内で誕生しました。当時からヨドコウとは深い関係を築いています。戦後、社名を白洋産業株式会社と変え、ヨドコウの鋼板製品を本格的に取扱い、鉄鋼商社としての道を歩むようになりました。1949(昭和24)年にはヨドコウの指定問屋となっています。

現在、当社の売上げの約8割は鋼板・建材部門が占めます。そのほか、運輸部門では海陸一貫体制でヨドコウの工場間での鋼板製品の輸送を手がけ、物流の合理化に努めています。

商号 淀鋼商事株式会社
所在地 大阪市中央区南本町4丁目1番1号
ヨドコウビル5F

会社設立 1942年1月
代表者 服部 格
資本金 3億7千万円

従業員数 143名
事業内容 鉄鋼卸業、運送業

ネット時代の新サービス「ヨドクラウド物置」 収納ニーズにきめ細かく応える 画期的なビジネスモデルで広がる可能性



ヨド物置で培ったノウハウを、インターネット時代に活かした新サービス。それが安全・安心を追求した収納・保管サービス「ヨドクラウド物置」です。画期的なサービスの特長と開発の経緯、そして今後の可能性について、開発の担当者に聞きました。

新事業の創出までの 社内の動きについて教えてください。

仙頭 昨年、社内組織を横断した新事業創出プロジェクトが発足し、社内公募を行ったところ、新たなビジネスアイデアとして900件近くが集まり、その1つとして「ヨドクラウド物置」のアイデアがありました。

中城 実は収納サービスの事業化について、以前から調査を進めており、都心回帰や人口減少、単独世帯・高齢化世帯増加に伴う住宅のコンパクト化が進むと、そのしわ寄せは収納スペースにいくと見込んでいました。ま



開発本部 開発部
マーケティンググループ
グループリーダー
仙頭 知行

た今回の事業パートナーである寺田倉庫様が物流情報システムを外部に開放していることを知り、業務提携にも前向きな返事を頂いていたことから新事業として提案しました。

物置メーカーとして 思い切った新事業ではないかと思われる。

仙頭 当社は「収納を通じて社会に貢献する」という事業理念のもと、約45年にわたって物置の開発、製造を手がけてきた中で、集合住宅にお住まい等の事情で物置の設置が難しいお客様や、既に物置を購入頂いているお客様でもスキー板やゴルフバッグなどの収納に困っている方も多くと認識していました。こうした問題に対して製造業である当社の出した解決策が「ヨドクラウド物置」という新たなサービスです。

「ヨドクラウド物置」とは、 どのようなサービスでしょうか？

中城 宅配便と専用段ボールを使い、お子様の作品やアルバムといった大切なものや、収納場所に困りがちな衣

類やおもちゃなどをお預かりするサービスです。ワンコイン（月額500円、税別）で大容量の専用ダンボール（縦57cm横44cm高さ51cm）を使用し、たくさんのが預けられます。お預かりした専用ボックスは24時間365日温湿度管理が徹底されている倉庫で安全・安心に一元管理します。またお預かりしたものはスタッフが一点ずつ撮影し、会員毎の専用ページでいつでもご確認頂けます。「もの見える化」によりお客様が何を預けたか忘れないような仕組みとなっています。返却も段ボール毎、もしくはアイテム毎にお送りすることが可能で、最短で翌日にはお手元にお届けできます。また段ボール以外では、スキー・スノーボード用品、ゴルフバッグ等をそれぞれ月額1,500円、月額2,000円でお預かりし、同様に撮影後、見える化します。

ネーミングが印象的ですね

中城 ネーミングにはこだわりました。ヨドクラウド物置と

いうネーミングの中で「ヨド物置」は当社でしか付けられない、親しみを持って頂けるブランドであり、当社のサービスであることを訴求する為に必ず必要と考えました。また「クラウド」は、インターネットサービスに親しんでいる世代を中心にサービスを訴求していきたいという思いを込めています。今後はヨド物置と同様に皆様に親しみを持って頂けるサービスとなる様、「ヨドクラウド物置」の浸透に努めていきます。

経営企画本部
収納事業グループ
グループリーダー

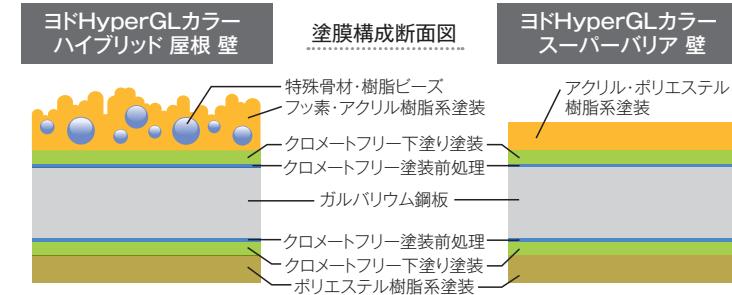
中城 和久



右のQRコードを読み取ると、「ヨドクラウド物置」のサイトにアクセスできます。

穴あき25年保証カラー鋼板「ヨドHyperGLカラー」 2017年1月発売 **NEWS**

「長期使用は人と環境に優しい」をコンセプトに、ガルバリウム鋼板をベースに「塗装前処理」、「塗膜」などを見直し、環境負荷物質である六価クロムを含まないクロメートフリー鋼板でありながら耐久性を更に向上させた穴あき25年保証の「ヨドHyperGLカラー」を開発。新しい試みとして商品名に「屋根」「壁」を入れて、主要な用途を提案したネーミングとしました。

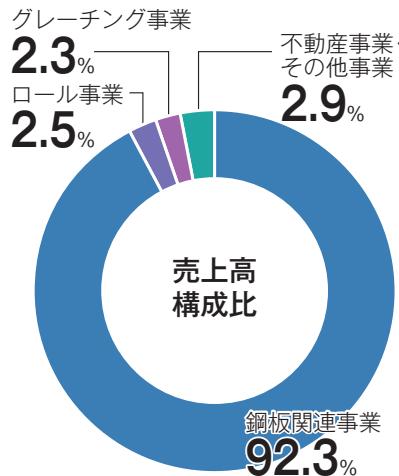


売上高
73,330百万円
(前年同期比 14.2%減)

営業利益
6,254百万円
(前年同期比 100.5%増)

経常利益
6,090百万円
(前年同期比 68.4%増)

親会社株主に帰属する四半期純利益
3,232百万円



鋼板関連事業

売上高
67,684百万円
(前年同期比 15.2%減)



鋼板業務

- ▶ 日本国内は価格は正に組み立てているが、足元の荷動きに停滞感が続いており、また安価な輸入材流入の影響で価格改定に時間を要する
- ▶ 台湾SYSCO社は、米国のアンチダンピングの影響などから輸出が減少したが、台湾国内向けは前年同期比販売増加

建材業務

- ▶ エクステリアは職人不足の状況下、中・大型物置の省施工性が浸透し好調に推移
- ▶ 主力のルーフは減収。採用増のグランウォールは新工場建設中
- ▶ 工事はグランウォールを採用した物流倉庫が完工したが前年実績に届かず減収

今後の取り組み

- 日本国内では新商品「ヨドHyperGLカラー」の販売促進に向けて全国でPR活動実施
- 海外では引き続き中国YSS社の早期軌道乗せに取り組む

今後の取り組み

- 建材商品ではグランウォールの新ラインアップ拡販に注力
- エクステリア商品はモデルチェンジした小型物置「エスモ」と新商品の「ヨドガレージエマージュII」の拡販に注力
- 工事は短工期工法の提案により更なる受注獲得を目指す

ロール事業



売上高
1,857百万円
(前年同期比 0.3%増)



- ▶ 鉄鋼用は高付加価値ロールの拡販に取り組み、新規顧客を獲得
- ▶ 非鉄用は市況が停滞する中、製紙分野で培った技術を新規分野へ展開

今後の取り組み

- 鉄鋼用は採算重視の営業活動を継続
- 非鉄用は引き続き製紙用ロール技術を応用し新規分野への進出に注力する

グレーチング事業



売上高
1,665百万円
(前年同期比 3.6%増)



- ▶ 公共事業は災害復旧重視の予算となったため道路関係は苦戦
- ▶ 港湾関連では東北地方の漁港で当社高機能商品が採用され実績に寄与

今後の取り組み

- オリンピック特需が期待される関東地区を中心に高機能商品の提案を積極的に実施
- 空港整備事業の受注に注力

不動産事業・その他事業



売上高
2,122百万円
(前年同期比 0.1%増)

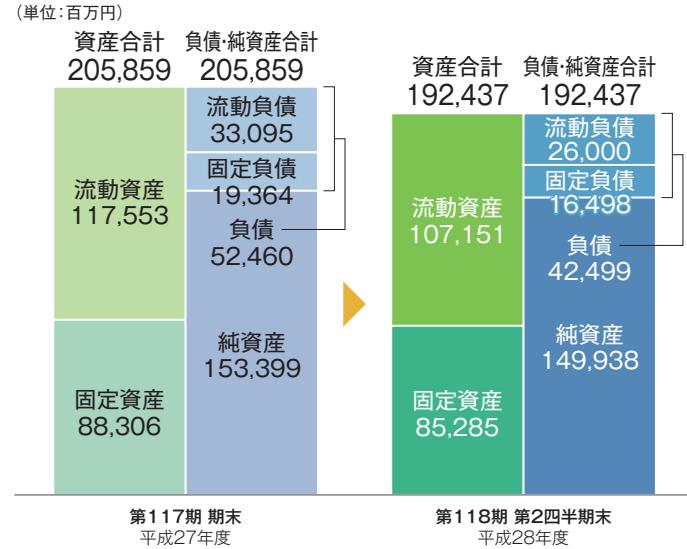


- ▶ 不動産事業は賃貸ビルの入居率が向上し増収
- ▶ エンジニアリング業務は海外技術契約、技術者派遣が売り上げに貢献したが、為替の影響もあり減収

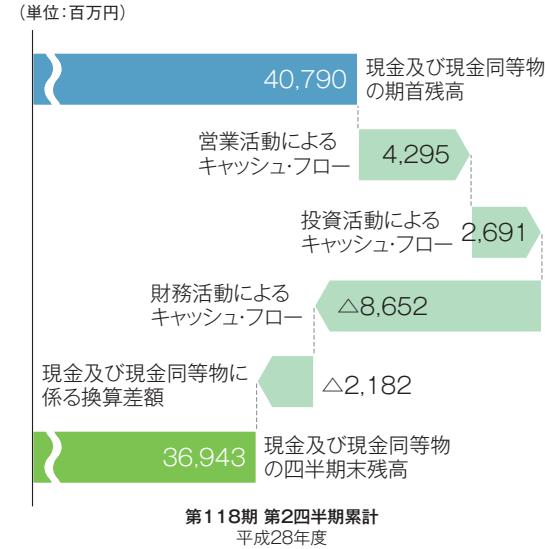
今後の取り組み

- 不動産事業は資産の有効活用を継続
- エンジニアリング業務はプラントが円高及び安価な東南アジア製設備の影響で厳しい状況に置かれているが、引き合い案件を見極め受注に結びつけていく

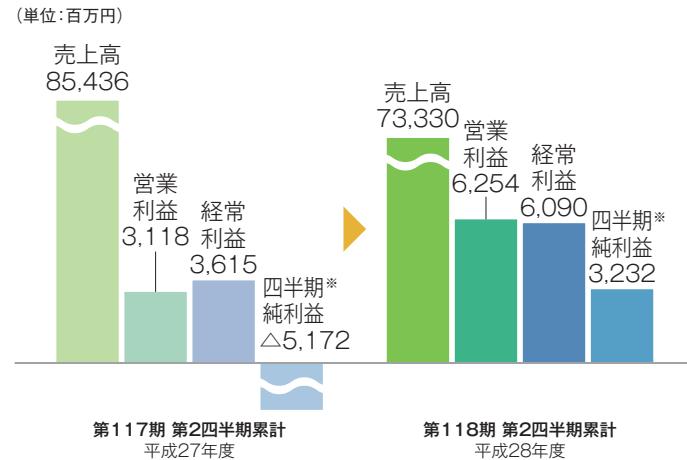
連結貸借対照表の概要



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

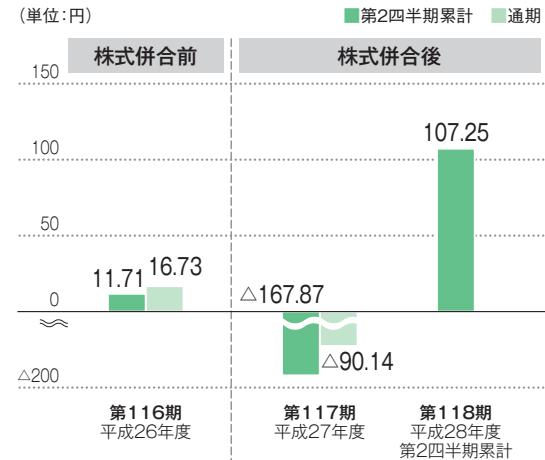


連結損益計算書の概要



※親会社株主に帰属する四半期純利益

1株当たり四半期(当期)純利益(連結)



※平成27年10月1日付で普通株式5株を1株の割合で併合した為、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益(連結)を算定しております。

(平成28年9月30日現在)

当社の概要

社名	株式会社淀川製鋼所
設立	昭和10年1月30日
資本金	23,220,815,228円
従業員数	1,187名

当社の主な事業所及び工場

本社	〒541-0054 大阪市中央区南本町四丁目1番1号 06-6245-1111
支社	〒104-0041 東京都中央区新富一丁目3番7号 03-3551-1171
営業所	札幌、盛岡、仙台統括、新潟、長野、高崎 東京統括、横浜、静岡、北陸、名古屋統括 大阪統括、神戸、岡山、広島、高松統括 高知、八幡、福岡統括、鹿児島、沖縄
工場	大阪(大阪府)、呉(広島県)、市川(千葉県) 福井(福井県)、泉大津(大阪府)

当社の主な関係会社

- 連結子会社
 - 高田鋼材工業株式会社 鋼板の加工および販売、倉庫業
 - 盛餘股份有限公司 鉄鋼製品の製造および販売
 - 淀鋼商事株式会社 鉄鋼卸業、運送業
 - 京葉鐵鋼埠頭株式会社 倉庫業
 - ヨドコウ興発株式会社 ゴルフ場等経営および不動産賃貸
 - 淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司 鉄鋼製品の製造および販売
 - PCM PROCESSING (THAILAND) LTD. カラー鋼板の製造、加工および販売
- 持分法適用関連会社
 - 株式会社佐渡島 鉄鋼卸業

当社の役員

取締役	執行役員
代表取締役会長	國保善次
代表取締役社長	河本隆明
取締役 専務執行役員	大森豊実
取締役 常務執行役員	林伯壽
取締役 常務執行役員	岡村裕一
取締役 常務執行役員	大森哲昌
取締役 常務執行役員	渡辺隆格
取締役 常務執行役員	服部要一郎
取締役 常務執行役員	中野善博
取締役 常務執行役員	河本稔夫
取締役 常務執行役員	隈元信介
取締役 常務執行役員	葛生八十
取締役 常務執行役員	大隅康令

※佐伯壽一および岡村裕の両氏は会社法に定める社外取締役です。

監査役

監査役(常勤)	境口勝己
監査役(常勤)	森岡司郎
監査役	宇津呂修
監査役	岩田知孝

※宇津呂修および岩田知孝の両氏は会社法に定める社外監査役です。

ヨドコウ迎賓館 保存修理工事実施のお知らせ

ヨドコウ迎賓館は10月30日をもって一旦閉館し、11月より約2年間の保存修理工事を実施しております。工事期間中の開館状況につきましては、ホームページ等で随時お知らせいたしますので、ご来館の際には事前にご確認ください。

<http://www.yodoko.co.jp/geihinkan/>

株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	100株（平成27年10月1日より）
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 ※当社ホームページをご覧ください。 http://www.yodoko.co.jp/

スチール! & アイデア! ヨドコウ

〒541-0054 大阪市中央区南本町四丁目1番1号
TEL. (06) 6245-1111 (大代表)
<http://www.yodoko.co.jp/>



株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

証券会社の口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 届出住所・氏名などの変更 ● 配当金の受領方法・振込先の変更 	口座を開設されている証券会社	
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送・返戻に関するご照会 ● 未払い配当金に関するご照会※ ● その他の株式事務手続きに関するご照会 	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

特別口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 届出住所・氏名などの変更 ● 配当金の受領方法・振込先の変更 	特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送・返戻に関するご照会 ● 未払い配当金に関するご照会※ ● その他の株式事務手続きに関するご照会 	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

※ 未払い配当金のお支払いについては、株式会社みずほ銀行本店および各支店でもお取り扱いいたします。

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話 0120-288-324（フリーダイヤル）
インターネット <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>
郵送物送付先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

株主優待券のご案内

当社株式100株以上保有の株主の皆様には当社グループ会社のヨドコウ興発株式会社が運営しておりますゴルフ場「西脇カントリークラブ」の優待券を進呈しております。本件1枚で1組(3,000円×最大4名)様分の割引が受けられます。

西脇カントリークラブのご案内

概要 1974年開場・27ホール・10,335ヤード
プレー キャディ付き(セルフ選択可能)・平日2サム可
自動走行カート(ナビゲーション装備)
打撃練習場・アプローチグリーン完備
休場日 元日及び1・2月の月曜日(祭日の場合は翌日)

お問い合わせ 西脇カントリークラブ
〒677-0039
兵庫県西脇市上此延町1424-2
フリーダイヤル：0120-23-1252
TEL：0795-22-1251 / FAX：0795-23-5771
URL： <http://www.nishiwakicc.ne.jp/>



クラブハウス



西コース・5番ホール



アクセスはこちら

西脇カントリークラブ